



飲食店でも家庭でも しっかり防ごう、食中毒！

令和元年 10月9日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和元年第40週分・9月30日～10月6日)

《インフォメーション》

●腸管出血性大腸菌感染症

県内の腸管出血性大腸菌（EHEC）感染症の報告数は23件で、前年同時期とほぼ同数でした（表参照）。例年、EHEC 感染症は夏季に報告数が増加しますが、一年を通して患者は発生するため、今後も引き続き注意が必要です。

EHECは、主に牛などの反芻動物の糞便中に認められます。本菌はその糞便を介して、牛肉やその他の食品、井戸水などを汚染します。菌が付いた食品を食べると、3～5日後に発熱や激しい腹痛、水様性の下痢、血便、吐き気、嘔吐などの症状が現れます。一部の患者は、合併症である溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症を併発して重症化し、死亡する場合があります。特に、抵抗力の弱い子供や妊婦、高齢者は、重症化しやすいため、注意が必要です。

EHECによる食中毒を防ぐためには、生肉あるいは加熱が不十分な肉、内臓肉の喫食を避けることが重要です。**生肉やレバーなどの内臓肉は、内部まで十分に加熱してから食べましょう。**秋の行楽シーズンになり、家族や友人と焼肉やバーベキューを楽しむ方も多いため、次の事項に気を付けて、食中毒の発生を防ぎましょう。

腸管出血性大腸菌感染症報告状況（富山県）

O血清群	2019年	令和元年10月8日現在	
		2018年 同時期	2018年 総数
O157	11	9	10
O26	9	9	10
O182	1	0	0
O111	0	3	3
O118	0	1	1
O128	0	2	2
型不明	2	0	0
合計	23	24	26

- ①調理や食事の前、トイレの後は石けんと流水で手を洗う
- ②生肉やレバーなどの内臓肉は、内部まで十分に加熱してから食べる
- ③まな板などの調理器具は、「加熱食材用」と「生食用」で使い分ける
- ④箸は「食べる専用」と「肉焼き専用」で使い分ける
- ⑤食材は調理までの間、低温（10℃以下）で保存する

食中毒予防の3原則

菌をつけない
増やさない
やっつける



《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 2件（①第39週診断分：50歳代、男性 ②90歳代、男性）
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件（10歳代、男性、O157、VT1VT2）
- 四類感染症 E型肝炎 1件（70歳代、男性）
レジオネラ症 2件（①50歳代、男性、肺炎型 ②60歳代、男性、肺炎型）
- 五類感染症 梅毒 1件（20歳代、男性、早期顕症梅毒I期）
百日咳 6件（①10歳未満、男性 ②10歳未満、女性 ③30歳代、女性
④40歳代、男性 ⑤80歳代、女性 ⑥90歳代、女性）

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週（増減）	先週
1位	感染性胃腸炎	4.03（↑）	3.97
2位	手足口病	2.21（↑）	2.00
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.45（↑）	1.14
4位	伝染性紅斑	1.41（↑）	1.07
5位	RSウイルス感染症	1.38（↓）	1.62
6位	ヘルパンギーナ	1.07（↑）	1.00

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第40週 令和元年9月30日～令和元年10月6日）

分類	疾患	今週報告分（第40週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核					1	1	20	11	48	25	40	144
三類感染症	細菌性赤痢								1				1
	腸管出血性大腸菌感染症					1	1		3	6	5	9	23
四類感染症	E型肝炎			1			1	3		2			5
	A型肝炎							2					2
	つつが虫病							1					1
	デング熱											1	1
	レジオネラ症			1		1	2	4		14	10	18	46
五類感染症	アメーバ赤痢											4	4
	ウイルス性肝炎									1			1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									4	1	3	8
	急性弛緩性麻痺									1			1
	急性脳炎											2	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2	3	6	11
	後天性免疫不全症候群											6	6
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	2	2	5
	侵襲性肺炎球菌感染症							1		8	8	9	26
	水痘（入院例）							1	2			5	8
	梅毒		1				1	1	1	2	1	14	19
	播種性クリプトコックス症											1	1
	破傷風									1			1
	百日咳			1	5		6	1	5	74	66	96	242
	風しん								1			3	4
	麻しん									1	2		3
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	1	8	14	1	8	32	1,429	938	3,175	1,698	3,725
		0.14	1.60	1.08	0.14	0.50	0.67						
RSウイルス感染症		2	2	17	1	18	40	35	69	268	105	389	866
		0.50	0.67	2.13	0.25	1.80	1.38						
咽頭結膜熱		2		1		1	4	176	22	236	50	197	681
		0.50		0.13		0.10	0.14						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	2	20	4	15	42	113	122	640	251	1,043	2,169
		0.25	0.67	2.50	1.00	1.50	1.45						
感染性胃腸炎		21	19	25	4	48	117	1,065	861	1,369	478	3,204	6,977
		5.25	6.33	3.13	1.00	4.80	4.03						
水痘				3	1	3	7	19	19	48	15	246	347
				0.38	0.25	0.30	0.24						
手足口病		6	6	8	3	41	64	207	239	1,058	270	1,344	3,118
		1.50	2.00	1.00	0.75	4.10	2.21						
伝染性紅斑			4	6	2	29	41	123	69	458	123	632	1,405
			1.33	0.75	0.50	2.90	1.41						
突発性発しん				4			4	30	33	181	40	167	451
				0.50			0.14						
ヘルパンギーナ		4	4	14		9	31	142	111	282	73	268	876
		1.00	1.33	1.75		0.90	1.07						
流行性耳下腺炎				1		2	3	4	7	9	1	23	44
				0.13		0.20	0.10						
急性出血性結膜炎											13		13
流行性角結膜炎			1	1		2	1	10	30	29	7	77	
			0.50	1.00		0.29							
細菌性髄膜炎									1			4	5
無菌性髄膜炎							2	1				1	4
マイコプラズマ肺炎			2			2		6	7				13
			2.00			0.40							
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							1		8	7	2		18
インフルエンザによる入院患者（*）										2		3	5

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じる場合があります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

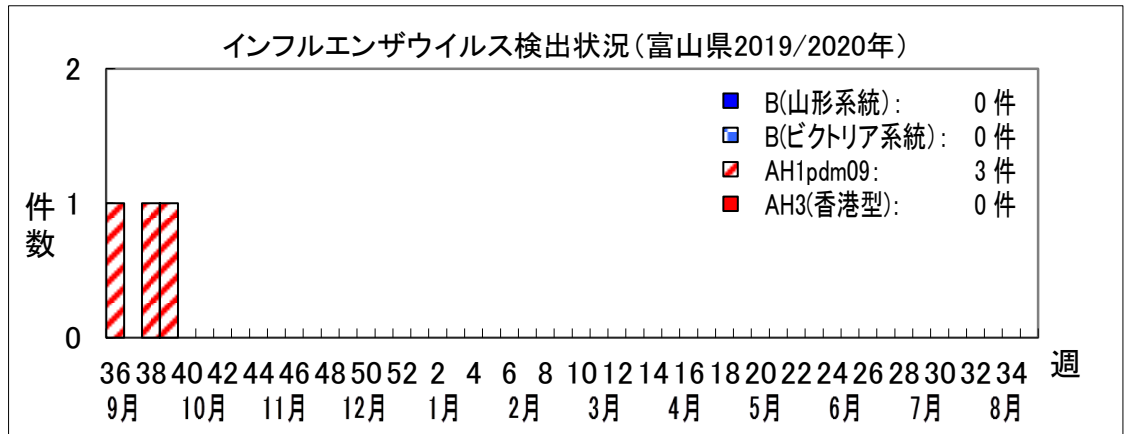
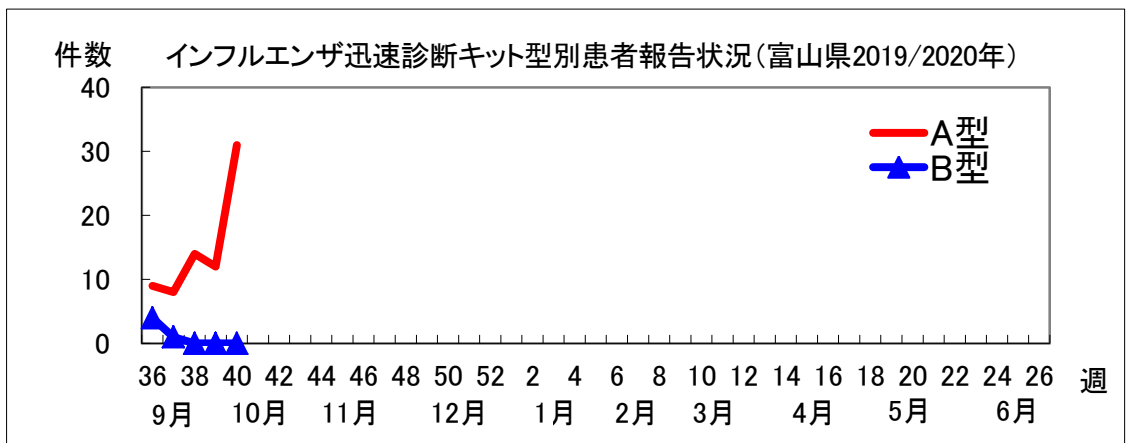
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が96.9%となっています。

第40週(9/30～10/6)：富山県 0.67人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	1 / 7	1	0	0	1
中部	2 / 5	8	0	0	8
高岡	6 / 13	14	0	0	14
砺波	1 / 7	1	0	0	1
富山市	4 / 16	7	0	1	8
富山県	14 / 48 ^{※1}	31	0	1	32
富山県累計(2019年36週～)		74	5	2	81

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が14か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



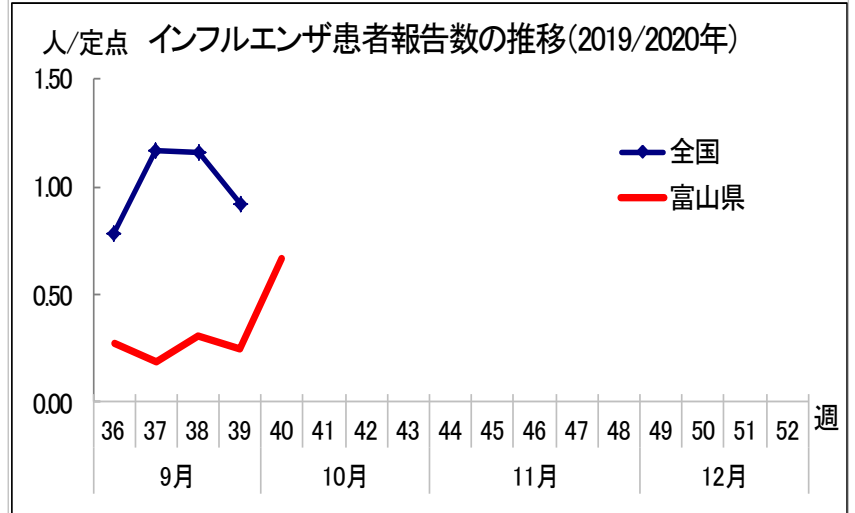


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第40週 (9/30~10/6) : 富山県 0.67人/定点

新川 HC (0.14)、中部 HC (1.60)、高岡 HC (1.08)、砺波 HC (0.14)、富山市 HC (0.50)

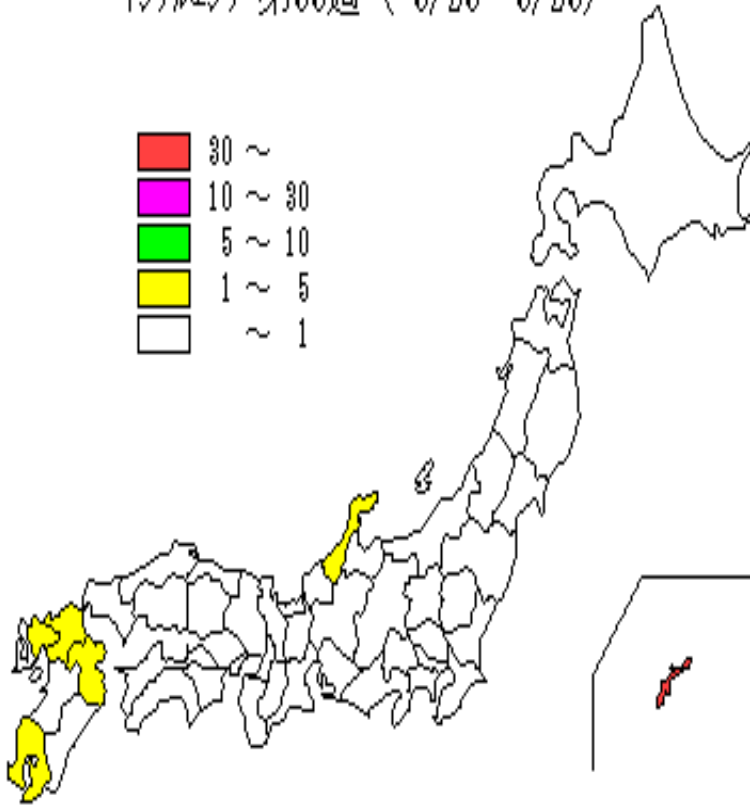
県内のインフルエンザの患者報告数は、流行入りの目安である定点医療機関あたり 1.00 人を超えていませんが、高岡厚生センター管内で、学級閉鎖が報告されています。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第39週 (9/23~9/29)

全国患者報告数は、定点医療機関あたり 0.92 人となり、前週の 1.16 人より減少しました。17 道県で前週より増加しています。29 都府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第39週 (9/23- 9/29)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.19	滋賀県	0.12
青森県	0.05	京都府	0.50
岩手県	0.28	大阪府	0.30
宮城県	0.55	兵庫県	0.19
秋田県	0.43	奈良県	0.38
山形県	0.35	和歌山県	0.02
福島県	0.65	鳥取県	0.14
茨城県	0.59	島根県	0.18
栃木県	0.09	岡山県	0.38
群馬県	0.02	広島県	0.18
埼玉県	0.40	山口県	0.60
千葉県	0.43	徳島県	0.14
東京都	0.96	香川県	0.40
神奈川県	0.50	愛媛県	0.51
新潟県	0.37	高知県	0.88
富山県	0.25	福岡県	1.18
石川県	1.33	佐賀県	1.69
福井県	0.19	長崎県	0.64
山梨県	0.80	熊本県	0.46
長野県	0.23	大分県	1.36
岐阜県	0.23	宮崎県	0.86
静岡県	0.32	鹿児島県	2.16
愛知県	0.51	沖縄県	34.72
三重県	0.63	全国	0.92